

2017年度 全国大学生の環境活動

大学生の環境活動も、日本全国で多岐にわたり活発に行なわれています。

学生自身が主体となり実践する活動は、それぞれユニークで、学生ならではの発想が光る活動ばかり。

今年、全国ユース環境ネットワークでは、「全国大学生環境活動コンテスト実行委員会」と協力し、関東、四国で大学生向けのSDGsの研修を実施しました。

以下、「第15回 全国大学生環境活動コンテスト」、「大学生 関東SDGs研修」、「大学生 四国SDGs研修」に参加いただいた学生団体の環境活動をご紹介します。

全国各地の学生団体と積極的に交流や情報交換を行い、すばらしい環境活動となることを期待しています。

(協力：全国大学生環境活動コンテスト実行委員会)



全国大学生環境活動コンテスト



関東SDGs研修



四国SDGs研修

北海道

2団体



北見工業大学 環境保全学生委員会

市民や学生により良い環境を提供すること

北見工業大学が、ISO 14001の認証を取得するにあたり発足した団体。北見工業大学と北見市をより生活しやすい場所にするために、学生だけの意見だけではなく市民ボランティアの方々と意見を交換し、ともに活動をし、多くの視点から街の環境活動の幅を広げている。



NPO法人 ezorock

大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクト

大雪山の美しい自然を誰もが持続的に楽しむことができるように

大雪山国立公園旭岳見散策路には年間約6万人もの人が訪れる。多くの人々が訪れる自然環境は放置しておくとも雨や踏圧などで急速に劣化する。生態系へのダメージを最小限にするために、「NPO法人 大雪山自然学校」旭岳自然保護監視員と協働し作業を担っている。



東北

1団体



福島大学

スタ☆ふくプロジェクト

福島県を「先進的地域活性化モデル」とする

夏に福島県いわき市で開催されるスタディツアー「いわき水産漁業ツアー」に向けて企画・運営を行っている。震災当時、操業自粛を強いられていた漁師の方々に漁業における放射線モニタリング検査の現状を知ることのできるようなプログラムを作成している。



関東

14団体



千葉大学

NPO法人千葉大学環境ISO学生委員会

学内における環境マネジメントシステムの構築・運用を学生主体で実施している環境ISO学生委員会。大学の環境報告書の作成や環境対策を推進する提言活動、成田空港付近における里山整備活動、古本市をはじめとしたイベント・セミナーの開催など、学内外における幅広い環境活動を行なっている。

em factory (えむ ふぁくとりー)

全国学生環境ビジネスコンテスト

「環境」×「ビジネス」の軸を持つ人材を育成する

2004年発足。企業から与えられる課題をチームで取り組む合宿形式のビジネスコンテスト。コンテストを通じ、今年度に至るまで述べ500人以上の意識を改革してきた。また、様々な団体との交流を通じ「環境ビジネス」の重要性を伝えている。



国立あかるくらぶ

環境分野では国立市を日本一きれいな街にする

国立市内を対象にごみ拾いを週2回実施している。また、ごみ拾い時に自作アプリを使用して、ごみの種類、量、場所などを計測した後、それらのデータの分析を行う。さらに、国立市役所と共催で、ごみ拾い活動をさらに身近にするための市民向けごみ拾いイベントを開催している。



早稲田大学

早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE

環境×教育

「環境教育を通して、持続可能な社会を形成する人材を育成する」という活動理念のもと、より多くの子供たちが楽しみながら「環境」について関心を持ち自ら行動を始めるきっかけとなるよう、イベント・授業等を通じて様々なアプローチから働きかけを行っている。

